



地域おこし協力隊

スポーツ振興支援担当

佐藤 照友旭
SATO TERUYUKI

1977年生まれ。北海道出身。順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科修了(スポーツ健康科学修士)。目標は東御の健康とスポーツに貢献すること。今秋に楽しみたいことは紅葉のきれいな湯の丸でのトレッキングや自然体験。



▲チャレンジデー当日の早朝ウォーキング(5月27日)

に足を運んでいただく事となりました。調整していく中で、偶然にも具志堅さんの大学の先輩で、器械体操にご縁のある方が東御市に在住していたことが分

地域おこし協力隊

活動レポート Vol.4



今年度、首都圏から5名が市内に移り住み、地域活動の新たな担い手「地域おこし協力隊」として従事しています。本コーナーでは、地域の活性化のため日々奮闘する隊員の活動をお伝えします。

健康とスポーツが
からだ
地域と體を育む

地域おこし協力隊 佐藤 照友旭

現在、スポーツ振興支援を中心に活動をしています。着任後の最初の大きな仕事は、5月27日の住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」。私の担当は講演会の準備でした。講師はロサンゼルス五輪体操金メダリストの具志堅幸司さんで、事前に講演の趣旨や内容の調整に当たり、ここ東御市

あり、その方は長野市のジュニア選手と一緒に講演会に足を運んでくださいました。私にとつて、スポーツを通じた人との繋がりを改めて実感することができた体験となりました。

とうみユニバーサル
スポーツクラブ

8月29日には、みんなの健康×スポーツ実行委員会主催のイベントに、パラリンピック競泳金メダリストの河合純一さんがゲストとして参加されました。私と河合さん、国立スポーツ科学センターでお会したり、河合さんが出場された6月の関東身体障害者水泳選手権大会(長野市)を観戦するなど以前から親交があり、イベント当日は歩行補助などのお手伝いをさせていただきました。河合さんが子どもたちと一緒に泳ぎ、指導に当たる姿を初めて拝見しましたが、指導者として素晴らしい感性を持たれた方だと感じました。

東御市スポーツ少年団

先日、スポーツ少年団の代表者会議に出席する機会がありました。その中で、「運動

あそび」を取り入れた活動について話をさせていただきました。というのも、青少年期におけるスポーツ活動の導入では、1つの種目に限定するのではなく、必要とされる運動を学ばせ、特有の楽しさと体力向上を目指すことが重要と考えられるからです。すでに田中野球スポーツ少年団では、野球だけにとらわれずに、運動あそびの要素を取り入れた活動が展開されていました。

今後は、指導者の皆さんと共に、プレイヤーズファースト(何が子どもにとって一番良いのか)を第一に考え、微力ながら少年団の活動にも貢献していきたいと思えます。



▲パラリンピアン河合純一さんを囲んで(8月29日)